

# 法政就業力通信

## ～今月のさんぽ道～

法政大学

産学連携 3D 教育プロジェクト

<http://3dep.hosei.ac.jp/>産学連携 **3D** 教育プロジェクト

## 「法政大学における就業力育成」

特任教員 白井 章詞 (しらい しょうじ)



### 略歴

法政大学大学院経営学研究科

キャリアデザイン学専攻(修士)

修了後、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程に進学。

2011年3月、同博士課程中退。

e-mail:

[shohji.shirai.36@hosei.ac.jp](mailto:shohji.shirai.36@hosei.ac.jp)

研究室は新見附校舎2F

法政大学は就業力を「文書作成力」、「情報収集・分析・発信力」、「状況判断・行動力」の3点からとらえています。この3つの能力を向上させることが、取り組みの大きな目的です。

### 「就業基礎力養成」での試み

この授業では、毎週、企業からゲストを招き、学生たちが調べたことを発表しています。発表内容は、会社の経営戦略やマーケティング、CSR、なかには裁判や事件に関するものも含まれます。その後、企業の担当者から補足説明をいただきます。この授業のポイントは、毎回授業後に課している「報告書」にあります。つまり、この授業そのものを1つの会議と見立て、1つは事実を、もう1つは各自の意見や感想をキッチリ分けて報告してもらいます。その目的は、社会人としての文章力育成もありますが、その前に、彼らが学生として取り組むべきレポートや卒論の質的向上にあります。そのためにも、毎週毎週、全員の報告書を読み、添削を加え、各人に返却しています。その結果、最近では、企業ゲストから「当社の新入社員よりも、しっかりした報告書になっている」との評価をいただけるようになり、学生からも「他のレポートや課題の書き方が変わってきた」といった成長を感じられるコメントが受講感想に多数寄せられるようになってきました。

### 「就業応用力養成」での試み

この授業では、大手新聞社系メディアと連携し、学生が記者となって執筆活動をしています。記事を執筆するにあたり、最初の壁は、副編集長を交えた企画会議にPassすることです。その後、取材や調査を行ない原稿に仕上げていきます。この授業で重要になるのは、「仮説」と「調査スキル」、そして「分析スキル」です。この3点のうち、どれか1つでも欠けると原稿にすることさえ出来ません。つまり、この授業は、実践的な職業教育であると同時に、学生たちにとっては学ぶことの社会的意義を再認識することができる機会にもなっています。今年も、原稿の締め切りに追われた学生たちは徹夜続きだったようですが、さっそく閲覧数1位(15万pv/day)となり、読者から沢山のご意見や感想をいただきました。この声を次の活動へのエネルギーに変えていきたいと思っています。

### 春学期を終えて

2つの授業に共通することは、「何度も書くこと」「読み手を意識すること」「フィードバックがあること」です。この3点が学生のなかで有機的に結び付いてこそ、成長につながると私は考えています。そして、それらを実践することができるのは、私自身も法政大学大学院において、そうやって育てていただいたからに他なりません。毎週毎週、学生から山のように届くレポートを前に掛けそうになることもあります。それでも私の「反応」を楽しみに頑張っている学生も少なくないようなので、諸先輩先生方を見習いながら頑張っただけで応えていきたいと思っています。



略歴 84年名古屋大学大学院卒。  
京都大学博士(経済学)。84~89年  
京都大学経済研究所助手、90~97  
年滋賀大学経済学部助教授・教授。  
97年~03年法政大学経営学部教  
授、04年~IM研究科教授。

## 今年度も教材 DVD をつくります！

### 教授 藤村 博之 (ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー)

教材用の DVD をつくり始めて3年目になります。これまで制作した教材は4本になりました。①旅行会社で働く女性営業社員、②パン製造会社に機械を納入している会社の男性営業社員、③化学分野の商社で働く技術系男性営業社員、④ミニカーを製造する会社で国際営業を担当する男性社員。それぞれの教材には、働く上で必要とされる要素がいくつも組み込まれており、学生が DVD を観て、(ア)自分で考える、(イ)友人とディスカッションをしながら考える、(ウ)話し合った内容をみんなの前で発表してさらに考えるという使い方を想定しています。

幸い、多くの教員から高い評価をいただき、将来の仕事と大学の勉強を結びつける教材として使われています。この場を借りて、お礼申し上げたいと思います。

評判がいいことに気をよくして、今年度も2本、新たな教材 DVD の開発に取り組んでいます。どのようなものができるか、ぜひご期待ください。



略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。  
70~06年伊藤忠商事(株)勤務、06~11  
年帝京大学と法政大学職員。  
11年~法政大学教員

## DVD 教材新作活用のご報告

### 特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

新たに加わったDVD教材「ツナゲルチカラ」と「海を越える“夢”」を使った授業を実施した。リアクションペーパーでそれぞれに「提案には相手のニーズをつかんで形にすること」や「国際ビジネスでは言葉を通じて気持ちをキャッチボールすること」など制作側の意図に沿った反応を多く得た。中には、「提案とは責任を持つことで事前の準備が不可欠」とか「人柄が大切なので多くの人と出会い、どう接するかを磨く事に努める」など本質の理解を語る学生まで見られた。加えて、アフターファイブを使っての相互理解の場面から、「やっとお父さんが飲んでくれるのが解かった」と大人へと一歩一歩近づく姿にこの仕事の有用性を再認識した次第です。



略歴：日米ハイテク企業での営業・人事  
を経て人事コンサルタントとして独立。  
キャリアカウンセラー資格取得後は多くの  
大学でキャリア論の講師を務める。

## 5000人が受講した DVD 教材

### 特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)

去る、7月19日に教材ビデオワークショップを開催いたしました。小規模の討議形式で、遠方から出張で来られた教員の方もおられ、貴重な意見交換をさせて頂きました。こうした活用方法の研究があつてこそ、ビデオ教材の完成度は高まり、活用範囲も広がります。

私たちの行う正課授業(「キャリアデザイン入門」等)では、この2年間に約3600人の学生が受講しました。加えて、学内からの依頼による出張(出前)授業では約1000人、学外からのご依頼による他大学への出張授業では約500人、合計で5100人を越えています。

今年度も新しいDVD教材の開発を進めると同時に、研究会や出張授業の頻度も上げていきたいと思っております。ご依頼あれば喜んで出張授業・意見交換にお伺い致します。

### ◆ 催事販売型インターンシップ終了

5月から始まり、今年度の「催事販売型インターンシップ」が無事終了しました。今回は5つの事業部が十条銀座商店街で焼菓子やいなりずし、和小物などの販売を行いました。事務局で差し入れを持って様子を見に行くと、暑い中、浴衣を着て店頭で元気に呼び込みをするメンバーのみなさんの頑張る姿がそこにはありました。先日行いました活動報告会では、各メンバーに修了証を授与したのですが、今回は就活にも使ってもらえるようにA5ノートにしてみました。表紙には各大学の名前を入れ、開くと左側のページには藤村教授のためになるお話(チャンスの女神には前髪しかない)、1ページ目に修了証を、中身は無地にしました。実用的でわりと好評だったので、事務局も安心しました。

- ◆ 編集後記：今年もやってきました小学校の盆踊り大会での「チョコバナナ」売り！(誰ですかバナナのたたき売りじゃないのなんて言っているのは！)。さて、今年は「1！2！3！ダー！」の3Dシステム(意味不明)で売りさばきましたが、今回は娘にも手伝わせました。アルバイトもしたことないのに意外にもちゃんと接客やら会計やらをこなし、うまくお母さん方ともコミュニケーションを取っていました。「習うより慣れろ」とはよく言ったものです。プチ催事販売型インターンシップ体験になったのではないのでしょうか。本家の催事販売型インターンシップのほうも学生さんが浴衣を着て品物を売っている姿が様になっていましたが、結構「習うより慣れろ」的な感じでやりきってしまう感もありました。「よく考えて行動する」か「とりあえずやってみてから考える」か、実社会では結構、難しい問題ですね。◀ 事務局：平山 ▶

法政大学 産学連携 3D 教育プロジェクト(事務局：学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL: 03-3264-9520 WEB: <http://3dep.hosei.ac.jp/>

産学連携 **3D** 教育プロジェクト